

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN : Asia-Pacific Network for Global Change Research)

1. 概要

アジア太平洋地域の22ヶ国が参加する機関であり、地球変動研究に対する競争的な研究資金を提供すること等を通じて、地域内の研究促進、科学的能力の向上及び適応戦略などの政策決定への貢献を目指すネットワーク。

2. 国際的位置づけ

APNは、世界をいくつかの地域に分け、政府間の地球環境研究支援ネットワークを形成し、地球環境に関する国際共同研究を推進していくという考えの下、アジア太平洋地域の地球環境研究支援ネットワークとして1996年に設立された。南北アメリカにおいては「米州地球変動研究機関 (IAI)」という国際機関が同様の目的で設置されている。

3. APNの活動

(1) 目的

- ・アジア太平洋地域における地球変動研究に関する地域連携の支援
- ・科学者と政策決定者間の適切な連携強化、科学的知見の政策決定過程や一般社会への提供
- ・開発途上国の科学的能力の向上
- ・他地域のネットワークとの協力促進 等

(2) APNが推進している地球環境研究の領域

- ・気候変動
- ・水・食糧の安全保障
- ・生物多様性
- ・REDD+
- ・資源の持続可能な利用 等

(3) 組織、運営等

①法的性格

条約等に縛られることのない緩やかな恒常的政府間協議の場として、域内における地球環境に関する国際共同研究活動等を支援。

②組織

- ・事務局：日本 (APNセンター：神戸)
- ・APN参加国 (22カ国)

オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、モンゴル、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、韓国、ロシア、スリランカ、タイ、米国、ベトナム

※ 太平洋島嶼諸国及びシンガポールは準加盟国扱い

※ 日本 (環境省、兵庫県)、米国、ニュージーランド、韓国、から財政的支援が行われている。